

山形県地域密着型サービス外部評価結果報告書

<認知症対応型共同生活介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

| | 項目数 |
|--------------------------------|-----|
| I. 理念に基づく運営 | 11 |
| 1. 理念の共有 | 2 |
| 2. 地域との支えあい | 1 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | 3 |
| 4. 理念を実践するための体制 | 3 |
| 5. 人材の育成と支援 | 2 |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | 2 |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | 1 |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | 1 |
| III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | 6 |
| 1. 一人ひとりの把握 | 1 |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | 2 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | 1 |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | 2 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | 11 |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | 9 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | 2 |
| 合計 | 30 |

※自己評価項目番号26 馴染みながらのサービス利用
自己評価項目番号39 事業所の多機能性を活かした支援
については、小規模多機能型居宅介護事業所についてのみ記入

| | |
|-------|-------------------|
| 事業所番号 | 670400530 |
| 法人名 | 特定非営利活動法人 米沢清友会 |
| 事業所名 | グループホーム ピュアグローブ |
| 訪問調査日 | 平成 20 年 10 月 22 日 |
| 評価確定日 | 平成 20 年 12 月 3 日 |
| 評価機関名 | 山形県国民健康保険団体連合会 |

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

| | | | |
|---------------|---------------------------------------|-------|------------|
| 事業所番号 | 670400530 | | |
| 法人名 | 特定非営利活動法人 米沢清友会 | | |
| 事業所名 | グループホーム ピュアグローブ | | |
| 所在地 (電話番号) | 山形県米沢市通町2丁目5番62号 (電話) 0238-21-1967 | | |
| 評価機関名 | 山形県国民健康保険団体連合会 | | |
| 所在地 | 山形県寒河江市大字寒河江字久保6番地 | | |
| 訪問調査日 | 平成20年10月22日 | 評価確定日 | 平成20年12月3日 |

【情報提供票より】(平成20年9月1日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|-----------------|--------|----------------------|
| 開設年月日 | 平成 13 年 4 月 1 日 | | |
| ユニット数 | 1 ユニット | 利用定員数計 | 9 人 |
| 職員数 | 7 人 | 常勤 | 7 人, 非常勤 人, 常勤換算 7 人 |

(2) 建物概要

| | | |
|------|-------------------|-------------------|
| 建物形態 | 併設/ 単独 | 新築/ 改築 |
| 建物構造 | 木造2階建トタン葺き耐火構造 造り | |
| | 2階建ての | 1階 ~ 階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | |
|---------------------|--------------|----------------|---------------|
| 家賃(平均月額) | 30,000 円 | その他の経費(月額) | 水道光熱費 16,500円 |
| 敷金 | 有(円) | 無 | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有(50,000 円) | 有りの場合 償却の有無 | 有/無 |
| 食材料費 | 朝食 | 500 円 | 昼食 500 円 |
| | 夕食 | 500 円 | おやつ 200 円 |
| | または1日当たり 円 | | |

(4) 利用者の概要(9月1日現在)

| | | | | | | |
|-------|-----|--------|------|------|-----|-------|
| 利用者人数 | 9 名 | 男性 | 2 名 | 女性 | 7 名 | |
| 要介護1 | 2 名 | 要介護2 | 4 名 | | | |
| 要介護3 | 1 名 | 要介護4 | 2 名 | | | |
| 要介護5 | 名 | | 要支援2 | 名 | | |
| 年齢 | 平均 | 86.6 歳 | 最低 | 81 歳 | 最高 | 100 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|---------------------------|
| 協力医療機関名 | 米沢市立病院、くまの医院、たかだ医院、山崎歯科医院 |
|---------|---------------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

一般住宅を改装したホームは高齢の方にも馴染みやすく、利用者、家族との触れ合いや地域との関係性を重視しながら、敬愛の心と絆を大切にしたい利用者本位の支援が行われています。
利用者の状態に合わせた椅子や手すりの工夫、小・中学生やボランティアの受け入れ、さまざまな行事を通じた地域交流と地域への情報発信など、楽しさ・安心・生きがいを利用者一人ひとりが感じながら、地域の一員として暮らすことができているグループホームです。

【重点項目への取り組み状況】

| | | |
|------|---|--|
| 重点項目 | ① | 前回評価での改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価での改善課題はありません。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) |
| | ② | 運営者、管理者は自己評価、外部評価の意義を職員に伝え、全職員で自己評価に取り組んでおり、管理者がまとめあげている。また、外部評価結果は会議で報告され、サービスの改善や質の向上に活かされている。 |
| 重点項目 | ③ | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議ではホームの事業内容や利用者の支援状況、外部評価への取り組みの経緯や結果等が報告されており、非常災害時の協力の働きかけ、施錠をしない支援について理解を得るための働きかけなども行われている。また、会議内容はすべての家族に郵送されており、情報の提供と共有化が図られている。 |
| 重点項目 | ④ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 面会時の声掛けと意見や要望の把握に努めており、家族から出された意見、要望のミーティングでの申し送り、会議での検討等がなされている。また、意見や苦情の取り扱いの説明、玄関への苦情箱の設置、苦情受付についての案内掲示も行われている。 |
| 重点項目 | ⑤ | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域の運動会や文化祭、清掃活動に町内会の一員として参加しており、ホーム行事はチラシや回覧で地元の方々にもお知らせして交流している。また、地域向けの広報誌も発行されており、公民館、協力医療機関、民生委員等に配布されている。 |

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|----|---|--|------|-----------------------------------|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 敬愛の心、家族同様の絆、ふれあいを大切にし、住み慣れた地域でその人らしい暮らしの継続を支えながら豊かな地域社会づくりを目指すことを基本指針とした理念が作りあげられている。 | | |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 職員採用時や研修会の場で理念を説明するとともに、定期会議、法人朝礼、日々のミーティング等での話し合いなど、職員全員で理念を共有しながら実践できるように取り組んでいる。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 地域の運動会や文化祭、清掃活動に町内会の一員として参加しており、ホーム行事はチラシや回覧で地元の方々にもお知らせして交流している。また、地域向けの広報誌も発行されており、公民館、協力医療機関、民生委員等に配布されている。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 運営者、管理者は自己評価、外部評価の意義を職員に伝え、全職員で自己評価に取り組んでおり、管理者がまとめあげている。また、外部評価結果は会議で報告され、サービスの改善や質の向上に活かされている。 | | |
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議ではホームの事業内容や利用者の支援状況、外部評価への取り組みの経緯や結果等が報告されており、非常災害時の協力の働きかけ、施錠をしない支援について理解を得るための働きかけなども行われている。また、会議内容はすべての家族に郵送されており、情報の提供と共有化が図られている。 | | |

山形県 グループホームピュアグローブ

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|----|---|--|------|-----------------------------------|
| 6 | 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 介護相談員の受け入れ、事業運営や利用者の支援に係わる相談が行われており、市町村との連携を密に行うことによって利用者へのサービス向上にもつなげている。 | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 暮らしぶり、健康状態、往受診状況、行事の案内、職員の異動など、毎月便りにして個別に家族に報告されている。また、緊急時の電話連絡、面会時の近況報告、金銭の出納状況の確認も行われている。 | | |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 面会時の声掛けと意見や要望の把握に努めており、家族から出された意見、要望のミーティングでの申し送り、会議での検討等がなされている。また、意見や苦情の取り扱いの説明、玄関への苦情箱の設置、苦情受付についての案内掲示も行われている。 | | |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの職員による支援が受けられるように配置異動を行い、職員が交代する場合でも、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 同じ法人事業所との交流が多いため、利用者、職員が顔馴染みとなっている。また、異動があった際には十分な引継ぎも行われている。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 法人全体の年間研修計画が作成され、職員の段階に応じた法人内外の研修を受けることができている。また、研修報告書が法人全体で回覧されているため、内容の周知と情報の共有が図られており、法人の各事業所には研修委員も配置されている。 | | |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 地区のグループホーム連絡協議会での勉強会や情報交換、また、他のグループホームとの交換実習や行事交流によって、利用者サービスの質の向上に取り組んでいる。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|--|---|------|-----------------------------------|
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | 【小規模多機能型居宅介護のみ】 ○馴染みながらのサービス 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | (小規模多機能型居宅介護のみの調査項目) | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 食事の準備や野菜作りなどの協働場面が設けられており、利用者から学んだり昔の話を聞きながら、ともに過ごし支えあう関係ができています。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 利用者とのコミュニケーションを大切にしており、本人の思いや希望を把握するよう努めている。また、困難な場合でも、利用者の様子や言葉、表情などから一人ひとりの思いを察して、本人本位に検討されている。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 本人、家族の意見や要望を聞きながら検討会議で十分話し合われており、利用者本位の介護計画が作成されている。また、作成された介護計画の内容についても、家族の同意が得られている。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 月1回の検討会議で各利用者の介護計画の見直しを行っており、また、本人、家族の要望や利用者の状態変化に応じた計画の見直しも行われている。 | | |

山形県 グループホームピュアグローブ

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|---|--|------|-----------------------------------|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | 【小規模多機能型居宅介護のみ】 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、 事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をして いる | (小規模多機能型居宅介護のみの調査項目) | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、かかりつけ医 と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受け られるように支援している | 本人と家族が希望するかかりつけ医に受診することが できており、また、事業所の協力医療機関の医師による 往診や通院支援も行われている。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、でき るだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかり つけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有 している | 重度化や終末期のあり方について、利用契約時に本 人、家族への説明が行われており、状態に変化がみら れた時には、本人や家族との十分な話し合い、かかり つけ医と連携をとりながら方針を共有するようにしてい る。また、同じ法人内の他事業所との協力体制づくりや 「看取りに関する指針」の周知にも取り組まれている。 | | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言 葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをして いない | 「利用者を尊重した対応」や「個人情報の取り扱い」な どについて会議で具体的に説明されており、職員の意 識向上と守秘義務の徹底に取り組んでいる。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一 人ひとりのペースを大切に、その日をどのように 過ごしたいか、希望にそって支援している | 散歩や外出、役割分担など、利用者の体調や気分、 ペースに合わせた柔軟な対応がなされている。 | | |

山形県 グループホームピュアグローブ

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|----|--|---|------|----------------------------------|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 野菜の収穫や食事の準備、片付けなどを利用者と職員が一緒になって行っており、また、弁当持参での外出や週末の希望メニューも取り入れながら、食事が楽しめるように支援を行っている。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 利用者の希望や体調に合わせて、ゆっくりと入浴できるような支援が行われている。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 野菜作り、刺し子、家事の手伝いなど、利用者の生活歴や経験を活かし、無理なく役割を担える場面作りが行われている。また、希望を取り入れた季節ごとの外出など、気晴らしについての支援も行われている。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 利用者の体調や希望に添って、散歩、外気浴、床屋外出、買い物、ドライブなど、日常的に外に出かけられる支援が行われている。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、環境や利用者の状態を考慮しながら鍵をかけないで安全に過ごせるような工夫に取り組んでいる。 | 運営者、職員は鍵をかけることの弊害を理解しており、日中は鍵をかけなくても安全に過ごせるような見守りがなされている。また、外へ出て行こうとする利用者へのさりげない声掛けや職員も利用者と同様行動を共にすることなどにより、自由な暮らしが支援されている。 | | |
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 消防署の協力を得ながら年2回の避難訓練が実施されており、夜間を想定した訓練にも取り組んでいる。また、運営推進会議では、地元消防団や地域住民の協力が具体的に得られるように働きかけている。 | | |

山形県 グループホームピュアグローブ

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|----|---|--|------|-----------------------------------|
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 栄養士による献立作成が行われており、栄養バランスや嗜好、形態に配慮した食事の提供がなされている。また、食事や水分の摂取量記録や体重測定も行われ、利用者の身体状況を確認しながらの支援が行われている。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共用の空間には季節の花が飾られ、思い思いに過ごせるようソファが配置されている。また、居間からは畑や山も眺められ、季節の変化を間近に感じることができる。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 使い慣れた椅子や家具、家族の写真などを持ってきてもらえるように本人や家族に働きかけており、利用者一人ひとりが居心地よく過ごせる居室となるよう配慮されている。 | | |